

# 全国高校生短歌大会

第5回

## 万葉の郷とつとりけん

広すぎる竜の背中に飛び乗って  
ランチパックを分け合いましょう

アロエから音が聞こえた  
きゆうというアロエにしては女々しい声の

流暢な寝言のせいで  
目の前をシンカイウリクラゲが泳いだ

### 本選大会後 審査員による 短歌トークセッション

現代短歌界を代表する歌人が、  
皆さんからの質問に答え、  
短歌の楽しさや創作について  
お話しします!

質問大募集! 締切:10/20

Illustration: 武田愛子

#### 審査員



大辻隆弘氏



穂村弘氏



江戸雪氏

日時 令和5年 11月4日 13:30~15:45

場所 とりぎん文化会館 第1会議室 定員150人

入場無料・事前申込不要

主催: 鳥取県 ※掲載した短歌は、第4回大会優勝チーム「豊立」(東京都立豊多摩高等学校・立教池袋高等学校)が決勝で披露した作品です。  
【題・作者】上から「広」佐藤 七海、「音」小幡 曜、「流」浪花 小模 ※ランチパックは山崎製パン株式会社の登録商標です。



山上憶良と大伴家持、二人の万葉歌人が国司として赴任した万葉の郷とっとりけんに、全国から短歌を愛する高校生が集い、思いをこめた短歌を発表して優勝を目指します。

さらに、今回は審査員による短歌トークセッションも開催！あなたの質問にも答えてくれるかも!?

## スケジュール

13:30～ 本選大会(準決勝・決勝)

14:30～ 表彰式

【休憩】

15:00～ 短歌トークセッション

**出場チーム:** 予選を通過した4チーム(短歌大会ウェブサイトにて9月下旬発表予定!!)

**対戦方法:** トーナメント戦で、準決勝2試合・決勝を行います。

**作品発表** 各チームが万葉衣装に身を包み、自作の短歌作品を発表。

**質疑応答** 審査員が作品について質問し、作者が答えます。

**判定** 審査員が勝者を判定し、講評をお話します。



**審査員:** 大辻隆弘氏 歌人、「未来」編集発行人・選者、現代歌人協会会員、現代歌人集会理事

穂村 弘氏 歌人、歌誌「かばん」所属、日経新聞歌壇選者

江戸 雪氏 歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、2022年度「NHK短歌」選者

**表彰:** 優勝、準優勝、敢闘賞(2チーム)

※表彰式では、個人部門の表彰(特別賞5名)と、審査員による講評も行います。



## 来場者の感想

- ▶ 審査員の歌人による講評がすごく的確でよかった。
- ▶ 高校生の作品には若さがあふれ、言葉の使い方の意外性が新鮮だった。
- ▶ 第一線で活躍される審査員に来ていただける素晴らしい企画だと思う。
- ▶ 短歌を通して自分を見つめ、言葉を紡ぐことの良さを改めて感じた。



## 短歌トークセッションで審査員にお答えいただく質問を募集します。

歌人に聞いてみたいことや、短歌を作る上で疑問に思っていることなど、何でもOK!

短歌大会ウェブサイトから投稿いただくか、①質問・②住所・③名前・④電話番号を記載の上、郵送または電子メールでお送りください。(締切:10/20※必着)

※時間の都合上、お送りいただいた全ての質問にお答えすることはできません。予めご了承ください。

どうして短歌を作り始めたのですか?

歌を思いつくのはどんなとき?

## お問合せ・質問の送り先

鳥取県 地域社会振興部 文化政策課  
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220  
TEL. 0857-26-7843 FAX. 0857-26-8108  
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp

万葉の郷とっとりけん 全国高校生短歌大会  
ウェブサイト

万葉の郷とっとりけん 短歌大会

<https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/>



主催: 鳥取県

第21回鳥取県総合芸術文化祭・とリアート2023参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 いなばぴよんぴよんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社 (順不同)

